

■研究授業 3

1 研究主題 言葉から形へ、形から言葉へ 発想・構想の能力に関わる題材

2 提案者 墨田区立両国中学校 教諭 清水 隆一

3 テーマと題材の関わり（題材設定の理由）

「色・形・ことばからの発信」というテーマに沿って、造形表現と言語の関係について生徒が自ら考え、制作と鑑賞の繰り返しから気づくような授業を試みた。色彩や形に思いを巡らせ意識して造形的な発想をすることは、中学生にとって普段の生活にはない特別な思考法だと思う。ここでは言葉と「形や色彩」の関係に気づかせ、造形的な発想方法の理解へ導くトレーニングの第一歩としたい。

4 学習の目標

(1) 造形表現の方法や要点に気づく

美術表現の基礎になる「形や色彩」を使って表現しコミュニケーションするという考え方を知り、言語表現と違う造形表現の方法や特性について考える。

(2) 「言葉」と「形や色彩」の関係に気づく

言葉を造形的に「形や色彩」で表現し、「形や色彩」で表現されたものから言葉で表すという体験を通じて、言語と造形相互の関係を知り、美術的な発想方法について考える。

5 評価の観点

美術への関心・意欲・態度 関	発想・構想の能力 発
① 意欲的に制作に取り組む。	① 言葉から形と色彩をつくりだす。
② 作品を提出し発表する。	② 制作されたものを言葉で表す。
③ 他の生徒の作品を鑑賞し学ぶ。	③ 言語と造形の関係に気づく。

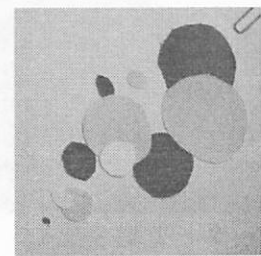
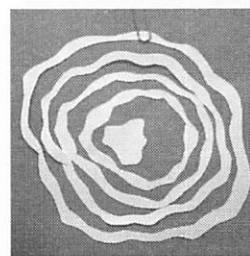
6 学習活動 〈全1時間〉

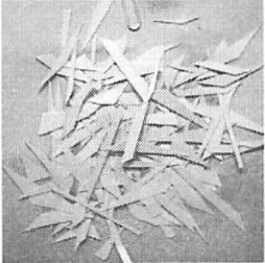
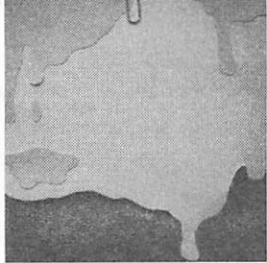

(1) 用具・準備

- ① 材料 色画用紙 12 × 12 cm に切ったカード (24 色)
- ② 道具 カッター・カッターマット・はさみ・のり・コンパス・定規など
- ③ 教室 ワンタッチ掲示板 (黒ラシャ紙とゼムクリップで自作)

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	制作 1 言葉→「形と色彩」変換 擬態語を「形と色彩」で表現する。10分 課題：擬態語「ふわふわ」を表現する。 制作の方法：24色の正方形カードから1枚選んで切り抜き、もう一枚のカードにのり付けて制作し掲示する。 ・完成したら自分で掲示する。(裏に記名)	関C ：制作できない生徒には「ふわふわ」したものを思い浮かべて手がかりにさせる。 発A ：形の操作に工夫がある。 発C ：言語へのこだわりから文字を使って表現する生徒には文字の「形や色彩」の工夫を求める。 関C ：できたが掲示できない生徒には提出掲示して表現する大切さを説明し促す。
	鑑賞 1 擬態語「ふわふわ」を表現した方法を見つけ出す。10分 課題：似ているものを探そう 掲示物から共通点と相違点に注目して、「ふわふわ」の造形表現を整理し多様な表現方法があることに気づく。 ・黒板に掲示した作品の前に集まって、鑑賞して気づいたことを発表する。	発A ：形や色彩の工夫を見つけて発表する。 ・「ことば」から「形や色彩」に多様な方法で置き換えることができたことを認めて次の制作に入る。



<p>展開</p>	<p>制作2 言葉→「形や色彩」変換 好きな擬態語で表現する。10分</p> <p>課題：好きな擬態語を選び課題1の方法で制作し掲示する。 (裏に記名と擬態語記入)</p>	<p>発C：具体的な事物や記号で表現したい生徒には「形と色彩」の工夫を忘れないように指示する。擬声語など擬態語からはずれた制作も許容する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 制作例A 制作例B </div>
	<p>鑑賞2 「形や色彩」→言葉変換10分</p> <p>課題：カードが表す擬態語は何か？ カードが表す擬態語を想像して発表する。 最後に制作者にも発表してもらおう。 ・黒板に掲示した作品の前に集まって、鑑賞して気づいたことを発表する。</p>	<p>発A：形や色彩から言葉を感じて発表する ・鑑賞1で言葉→「形や色彩」の変換方法の多様性に気づき、ここでは「形や色彩」→言葉の変換も、また多様であることを知る。(制作者の意図が正解というわけではないことに注意)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>・ザワザワ ・ボサボサ ・チクチク ・トゲトゲ ・ガサガサ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>・トロトロ ・ダラダラ ・ユルユル ・タラリタラリ ・ポタポタ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> Aの擬態語 Bの擬態語 </div>
<p>まとめ</p>	<p>まとめ 教師が学習を整理し「造形活動で意識してすること」を確認して定着を図る。</p> <hr/> <p>最終問題：マンガの吹き出しの「形と言葉」の関係を見よう。 ・生徒にとって身近なマンガの表現に使用される「吹き出し」の形と言葉との関係を考える。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉から「形や色彩」を生み出すことができた。 ● 造形表現から言葉にすることもできた。 ● ただし、その関係は一対一に対応する関係ではなく、多様な関係になる。 ● 人間は言葉で考えたり伝えたりするが「形や色彩」でも同じようなことができるかもしれない。 <hr/> <p>・普段から言葉だけでなく「形や色彩」から感じ考えていることに気づかせる。</p>